

まちづくりや暮らしに関する制度、市の行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

6月定例会の一般質問は個人質問で17人の議員が質問しました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、各議員はマスクを着用しております。

三田市議会会議録 検索

三田市議会インターネット録画中継 検索

三谷 禎勇 議員

盟政会



子育て

令和3年4月目標の待機児童ゼロの実現性は

議員 令和2年4月1日施行の「第2期三田市子ども・子育て支援事業計画」は、順調に進んでいるのか。また、計画どおりに進んだとしても、令和3年4月時点で、本当に待機児童は解消されるのか不安がある。

市 待機児童解消に向け緊急対策を検討し、今年度中に提案する

待機児童解消は早期に解決すべき市の最重要課題である。令和3年度の待機児童解消に向けて、市内教育保育事業者のご意見も聴かせていただき、新たに緊急対策を検討し、本年度中に提案する。(森市長)

他の質問 ●新型コロナウイルス感染症関連の支援策等について

檜田 充 議員

市民の会



学校

子どもたちの実態把握と心のケアは

議員 3カ月もの小中学校の臨時休業期間、子どもたちの多くは様々な不安や悩みを抱えていると言われている。子どもの実態把握と心のケアが何より大切だと思うが、学校における取り組みは。

市 スクールカウンセラー等と連携し取り組む

休業中は、保護者と連携し心身の健康状態の把握やケアに取り組み、学校の再開後は、教員が児童や生徒と個別の教育相談を実施し、必要な指導や助言を行っている。今後もスクールカウンセラー等の専門スタッフと連携し、心の状態の把握に努める。(鹿嶽教育長)

他の質問 ●新型コロナウイルス感染症について

中田 哲 議員

新政みらい



福祉

成年後見制度申立等の費用助成について

議員 認知症高齢者・障害者の権利を守るため、成年後見制度の利用促進が必要である。経済的負担が制度利用の妨げとならないために、貯蓄や収入の状況によっても支援を受けられるよう助成を拡充すべき。

市 他市の状況も参考に支援制度を検討したい

高齢化の進展に伴い成年後見制度のニーズは増加する。経済的理由により利用が妨げられないように配慮し、他市の状況を見ながら支援制度について検討したい。(入江福祉共生部長)

他の質問 ●特定教育・保育施設に係る課題について



説明 *成年後見制度：成年後見制度は精神上の障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度。

大西 雅子 議員

公明党



人権

人権尊重のための対策を問う

議員 SNS等による人権侵害の現状や課題をどのように認識しているのか。また市が策定しようとする「人と人が共生し合えるまちづくり」を実現するための条例とはどのようなものなのか。

市 条例を策定し、様々な課題の解決を目指す

人権を侵害する書込みが増えている。便利な道具だが使用方法を誤ると凶器にもなるため、様々な機会を通し啓発を行っている。また、全ての施策の根幹となる条例の策定により、全ての人々が自分らしく生きやすい社会の実現を目指す。(森市長)

他の質問 ●生活困窮者自立支援について
●今後の新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた対策について

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



医療

発熱トリアージ外来の設置をしてはどうか

議員 発熱時に「ここに行けば診てもらえる」という場所の設置は、市民の安心につながり、発熱患者がいきなり医療機関に行くことも防ぎ、医療機関の負担軽減にもつながると考えるが。

市 新たな診療・検査体制は関係団体と相談し進めたい

発熱トリアージ外来の設置は、適切に患者を振り分け、受け入れができる一つの方法だが、オンライン診療など新たな方法も増えているため、新たな診療・検査体制の必要性については、国の取り組み等を注視しながら、県や関係団体と相談して具体化を進めたい。(森市長)

他の質問 ●地域の基幹病院としての市民病院のあり方について ●新型コロナウイルス感染症と共に生きる時代の学校のあり方について



説明 *発熱トリアージ：発熱者への対応を、病状の緊急度に応じて振り分けること。

西上 俊彦 議員

新政みらい



まちづくり

市窓口番号発券機に多言語機能の追加を

議員 市内在住外国人の増加に伴い、市役所窓口手続きや相談などに来られる外国人の方の増加が見込まれる。言葉の問題を解決するために、市窓口番号発券機を、多言語化する必要があるのではないか。

市 早急に必要な予算措置をして改修する

5月末現在で41か国1,185人の外国人が在住されており、共生のまちづくりを推進する上で言葉の障壁を少なくすることは課題の一つである。画面表示の多言語化設定に向けて必要な予算措置を行って改修に着手したい。(入江副市長)

他の質問 ●市立学校再開に向けた今後の対応について ●健康増進について

平野 管子 議員

公明党



子育て

市立幼稚園を認定こども園に

議員 認定こども園化に向けての市立幼稚園再編の考え方と、今後のスケジュールは。また預かり保育の拡充についても伺う。

市 令和5年・6年度に認定こども園整備

幼稚園を統合し、3歳以上の幼稚園型認定こども園の設置を令和5年・6年度に北西部1カ所、北東部1カ所と考えている。通園地域が広域となるためバス通園も検討する。

預かり保育は、認定こども園化までに農村部等の8園は週3日の拡充を検討し、最終的には幼稚園・認定こども園の全園で週5日へと拡充していく。(森市長)

他の質問 ●働き方改革と在宅勤務のあり方について ●新型コロナウイルス感染症による財政の影響について